

文学部歴史学科・樋口映美ゼミのゼミ生から、アメリカでの研修旅行体験記が届いた。

16日間の異文化体験

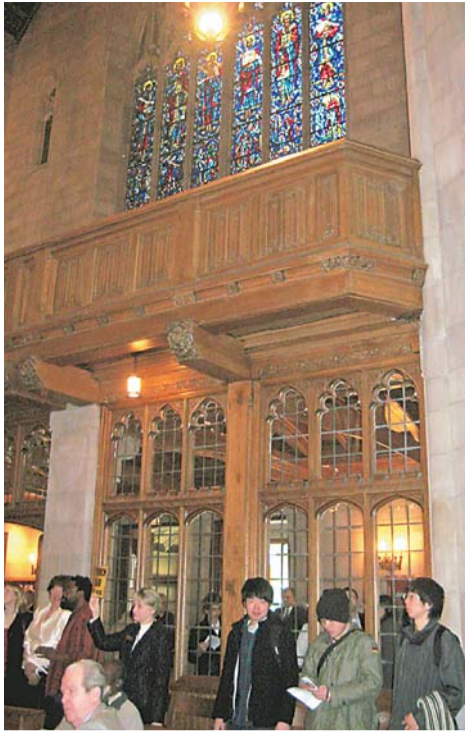
UNC学生と親密な交流も

植木 辰典 (文 4)
畑山 慎哉 (文 3)

春の研修旅行(3月3日〜18日)で私たち文学部・樋口映美ゼミの有志たちにとって初めて見る「アメリカ」でした。シカゴの中心街は整然と高層ビルが並び、ピカソなどの著名な芸術家の作品が街のあちこちにあっ

米国ゼミ研修報告

樋口映美ゼミ



▲ 長老派教会の日曜礼拝に参加＝シカゴで

て、そこは、都会の洗練された雰囲気が出されていきました。また、通りにはさまざまな人種の人々が行き交い、アメリカが多人数種国家であることを、再認識させてくれました。



▲ ウィリアムズ先生の授業に参加し、UNCの学生たちと自由討論

一方で、中心街から離れたサウスサイドを歩いていると、ゴミが散乱する道路や修理を要する家、それに銃痕と思われる穴の開いた窓など、治安の悪さを示すものが多い見受けられました。また、目に入る人影のほとんどが、中心街から離れたサウスサイドを歩いていると、ゴミが散乱する道路や修理を要する家、それに銃痕と思われる穴の開いた窓など、治安の悪さを示すものが多い見受けられました。

その週の火曜日には昨年、樋口ゼミの授業に来ていただいたUNCのヘザー・ウィリアムズ先生の授業に参加しました。授業ではまず私たちが、子どもの成長を祝う七五三や端午の節句などの儀式について話しました。英語でうまく説明できるかどうか心配でしたが、学生たちは真剣に聞いてくれました。

責任を持つなどの意見もあれば異性と交際する、政治・経済に関心を持つなどの意見もあり、思想や価値観に共通する点が多いことに驚きました。わずかな時間ながらも外国の同世代の学生と議論して理解を深められたことは貴重な体験でした。

到着の翌日は日曜日。車で3時間ほどの小さな田舎町クレズウェルに出かけました。そこで『奴隷制の記憶』の著者であるドロシー・レッドフォードさんを訪ね、一緒にサマセット・プレイス(奴隷制農場史跡)の近くのバプティスト派「黒人」教会に行きました。

UNCの図書館では、3日間かけて卒論に必要な史料探しをしました。アメリカ史に関する蔵書の数は専修大学のそれと比べて膨大でした。現地の学生に交じて数々の史料や論文を入手し、集中して貴重な文献を読むことができたのは大きな収穫でした。

最後に、一昨年と昨年同様、シルクロードを歩きました。シルクロードを歩くというテーマで1年間、シルクロードについてさまざまな文化やそれに関わる国について調べてきました。その集大成として佐竹教授を含めゼミ生9人で、2月23日から3月3日まで9日間、西アジア北端、南コーカサス地方のグルジアとアルメニア2カ国を回

書道・折り紙・浴衣…

日本文化を伝えた!

小野 千尋 (ネット 4)

「シルクロードを歩きました」というテーマで1年間、シルクロードについてさまざまな文化やそれに関わる国について調べてきました。その集大成として佐竹教授を含めゼミ生9人で、2月23日から3月3日まで9日間、西アジア北端、南コーカサス地方のグルジアとアルメニア2カ国を回

に行き、日本文化を伝えられなかった悔しさがあがり、そのリベンジが果たせると思いました。グルジアは、人口430万人。キリスト教信仰をはじめとする伝統文化や温暖な気候を利用したワイン生産が盛んな国です。ニノという女性がキリスト教を伝道・紹介したことからキリスト教を信仰している人が多くいます。現地では多くの

海外体験記

アルメニア

厳しい恋愛観や家族観

かつての日本の姿?

保原 元気 (商 4)

私たちは春休みにアルメニア、グルジアに行ってきました。アルメニアという国をみなさんは知っていますか?

アルメニアは、アジア、欧州、中東と交流し、コーカサス地方の南の山に囲まれている国です。そして5000年の歴史があり、アララト山とい



▲ 前列中央・紫のパーカーが小野さん、その左が保原さん(グルジア・トビリシ自由大学で)

私たちが目的の一つである、グルジア学生との交流会も開かれました。前半に日本の文化を伝えるためプレゼンテーションをし、後半に折り紙、習字、浴衣の着付けなど

恋愛に関してもとても厳しく、キリスト教のしきたりを忠実に守っている国でした。私たち日本人には考え難いことが本当に多くありました。

今回のゼミ研修で、日本ではあまり知られていない国に行き、多くのことを学びました。紙面上ではわからないアルメニアの空気、味、雰囲気。日本で本やインターネットで調べるだけでアルメニアのことを知った気になっていました。

しかし本当にその国を知りたいのならば、現地に行き、自分の肌で感じる手がたれたいことを実感しました。



▲ 日本から持ってきた浴衣を着たアルメニアの学生たちと記念撮影(アルメニア・エレバンで)

うことです。アルメニアりません。まず家族の元を離れるということがないのです。